

安全な

おそい！おもたい！つながらない！を解決

テレワークソリューション

政府が推進する「働き方改革」においても、テレワークは重要な位置付けとされています。職場や業務の改善はもとより、通勤の負担やストレス軽減、育児・介護と仕事の両立といった従業員満足度の向上だけでなく、今や **感染症や災害発生時のBCP対策**として、企業や団体におけるテレワーク環境の必要性は、これまでにないほど高まっています。

テレワーク導入に関して、お困りではありませんか？

セキュリティが心配！コストが高い！ せっかく導入したのに操作性が重い！！

日本企業がテレワークを導入する際の3大お困りごとを解決！

1

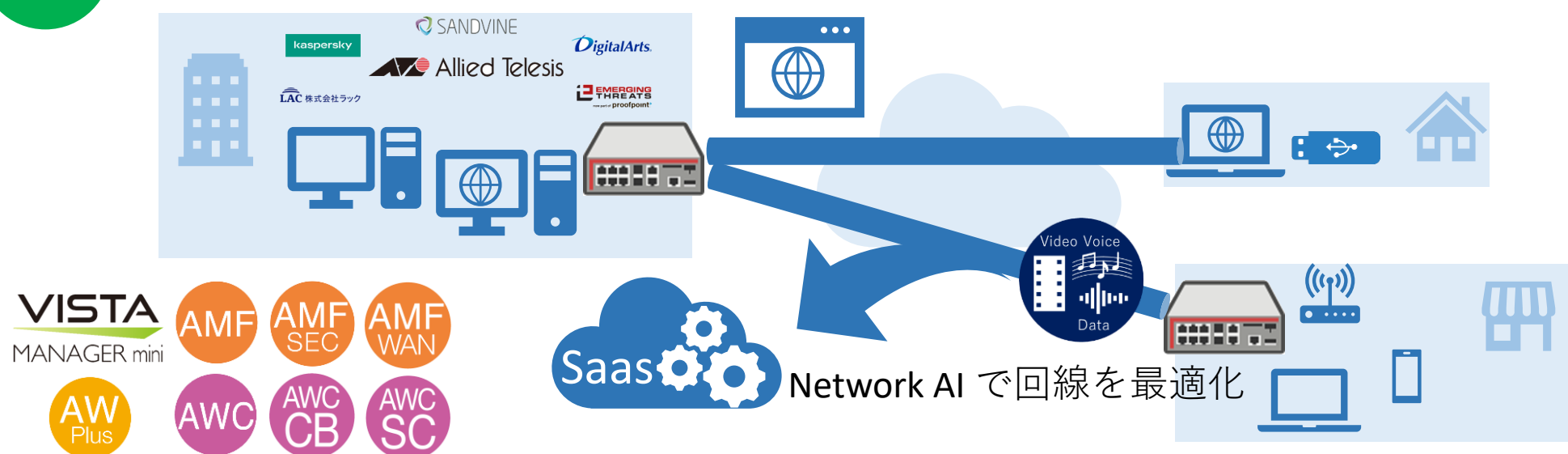
IoTデバイスもセキュアな接続を実現！VPN装置 + mono Pack

既存資産を活かしつつ手軽にシンプル、低コスト！

2

3

回線混雑を回避！国内メーカーだからできる、日本のネットワークに最適化されたWAN接続



導入するなら今！助成金があります

テレワークコース ▶ 申請：2020年12月1日まで

対象事業主：テレワークを新規で導入する中小企業事業主

支給対象：テレワーク用通信機器の導入・運用

※シンクライアント端末（パソコン等）の購入費用は対象であるが、シンクライアント以外のパソコン、タブレット、スマートフォンの購入費用は支給対象外

当社のテレワークソリューションは補助金対象範囲です※

※但し、一部対象外となる場合がございます。詳しくは相談センターへお問合せください。

テレワークに必要な **3** つの設備

1 インターネット回線

アライド光

NTT回線 + ISP + ゲートウェイ機器
※お客様の既設の回線のご利用も可能です。

アライドテレシスのARルーターは 国内VNE事業者対応

外資系メーカーのルーターをご利用の場合でも
VNE接続メディコンとしてARシリーズを導入可

2 VPN装置

端末接続数10~100台

AR1050V
AR2050V



端末接続数100~1,000台

AR3050S
AR4050S



規模や用途に合わせて選択できます！

3 テレワーク用端末

USBタイプのシンクライアント

monoPack



自宅のPCをシンクライアント化する、
"mono Pack" でコストダウン。

VPNクライアントソフト

OPENVPN

世界で最も使われているセキュア
なVPNクライアントの一つ。
フリーライセンスでマルチOS対応。

アライドテレシスが選ばれる理由

外資系メーカーがサポートしない、国内VNE事業者との接続！

従来のIPv4網を使用したPPPoE接続は接続数が
多くなると網終端装置で輻輳が発生し通信が
不安定になりテレワークの操作性が落ちます。
IPoEは高速・大容量のNTT-NGNを利用し
通信しているため輻輳の発生リスクが低く
安定してます。

国内VNE事業者	サービス名
(株)朝日ネット	IPv4 over IPv6サービス
インターネットマルチフィード(株)	transix IPv4接続
エヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ(株)	OCNバーチャルコネクティブサービス
日本ネットワークイネイブラー(株)	v6プラス
ビッグロブ(株)	IPv6オプション

※"v6プラス"は、日本ネットワークイネイブラー株式会社の登録商標（または商標）です。

自身がWeb会議を利用してなくとも通信が不安定になる事象を解決！

社内のどこかでWeb会議を開始すればWAN回線を圧迫し他の通信も影響します。Web会議などのアプリケーションを自動判別しWAN回線を最適化し快適なインターネットアクセス環境を維持することができます。

VPN装置だけではなく、テレワーク用端末向けにVPNクライアントも提供可能！

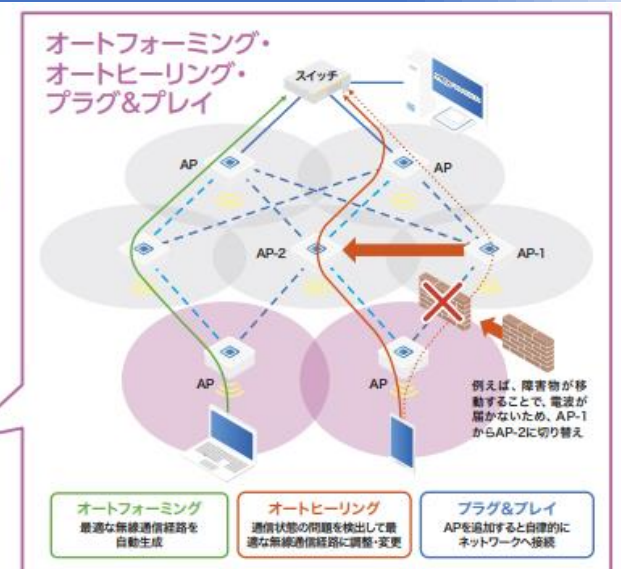
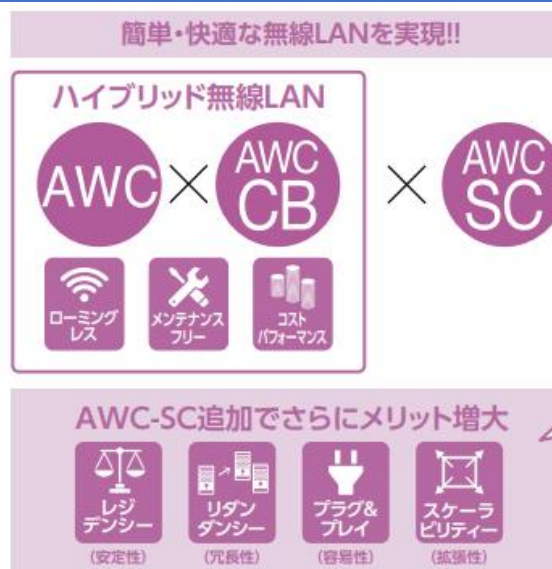
VPN装置としてARシリーズがあれば、
「リモートデスクトップ方式」、
「仮想デスクトップ方式」、
「持ち帰り方式」のいずれにも対応可能。
もちろん、VPNに対応したテレワーク用端末の
構築も可能です。

VPNクライアント	特長
OpenVPN	Win/iOS/Android/MACのマルチOS対応
Windows10※	Windows10標準搭載
iOS※	iOS標準搭載
Android※	Android標準搭載
monoPack	自宅PCをシンクライアント化。

※標準OS搭載のVPNクライアントはファームウェア Ver.5.5.0-2にて動作確認済みになります。Ver.5.5.0-2は2020年12月より弊社ホームページよりダウンロード開始予定。

ネットワーク規模や拠点数に応じて選べる豊富な製品ラインナップとソリューション

管理者にうれしい！自律型無線LAN接続も提供！



機器選定

AR4050S

AR3050S

AR2050V

AR1050V

テレワーク用端末は何台導入しますか？

1,000台まで

100台まで

20台まで

セキュリティ対策はどこまで実施しますか？

強固なファイアウォール
+UTM

強固なファイアウォール

無線LANを導入する予定はありますか？

AP25台まで

AP5台まで

インターネットブレイクアウトをしますか？

複数アプリ

o365のみ



AR4050S



AR3050S



AR2050V



AR1050V

ハードウェア性能が機器毎に異なりますので、テレワーク用端末の必要台数に適した機器をお選びください。

ARシリーズはゾーンベースの強固なファイアウォールを搭載しております。さらなる安全のためにアンチウイルスなどのUTM機能もございます。

自律型無線LANソリューションAWC(無線LANコントローラ)を搭載。アクセスポイント5台までは標準で管理可能です。

センター側のトラフィックを分散し低減させることが可能です。o365専用到低減できる他DPIベースで判別・振分けが可能です。

OS標準
VPNクライアント

OpenVPN

mono Pack

テレワーク用端末はどのように調達しますか？

テレワーク専用PCを調達する

自宅のPCを使う

テレワーク用端末はどのような物を使用しますか？

PCなど
特定端末のみ

PCやスマホなど
複数端末使用

PCにインストールされているOSは何ですか？

Windows,
iOS, Android

MAC OS



VPNクライアント選定

盗難等を考慮すると持出専用端末を用意する必要があります。予算が無い場合はmono Packを使えば自宅のPCをテレワーク用端末として使用できます。

PCやスマホなど複数種類の端末を使用する場合はOpenVPNがおすすめ。マルチOS対応なので設定・管理を統一できます。

Windows10、iOS、Androidは標準でVPNクライアントが搭載されております。インストールの手間が省け設定のみでご利用いただけます。MAC OSであればOpenVPNをご利用ください。

※標準OS搭載のVPNクライアントはファームウェア Ver.5.5.0-2にて動作確認済みになります。Ver.5.5.0-2は2020年12月より弊社ホームページよりダウンロード開始予定。